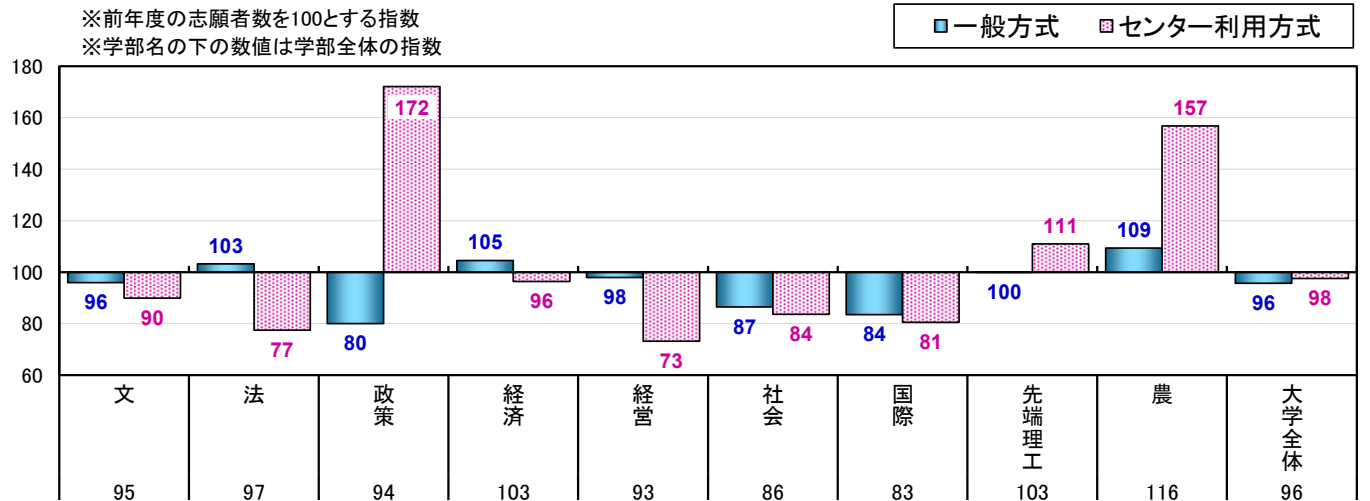


# 2020 年度入試状況分析【私立大】

龍谷大：大学全体では9年ぶりに減少

一般：-1,908人 センター：-255人



**入試変更点**

学部改組：理工→先端理工  
 選抜方法：新規実施…政策<セ・併用前期><セ・中期3科目>  
 農<A日程農学型高得点科目重視><B日程農学型高得点科目重視>  
 <C日程農学型高得点科目重視><セ・前期3科目><セ・併用中期>  
 廃止…農<A日程4教科><B日程4教科><セ・前期4教科>  
 入試科目：政策<セ・後期3教科>…歴公、教、理が必須から選択に  
 農<A日程農学型スタンダード><B日程農学型スタンダード>…理の選択に物追加  
 (食料農業システム)<セ・中期>…3教科必須から3科目選択へ

**COMMENT** ※ ( ) 内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、2,163人(96)のやや減少で、9年ぶりに減少。学部別では、9学部中6学部が減少。理系2学部はいずれも増加し、理工から改組した先端理工(103)は、やや増加だった。

<一般方式>

- 文(96)は、3年ぶりに減少。
- 政策(80)は、系統への人気低下に加え、前年度大幅増加の反動で大幅減少。方式別では、<C日程>の2方式を除く4方式が減少。
- 経済(105)は、やや増加で2年ぶりに増加。方式別では、減少した<C日程>の2方式はいずれも大幅減少。
- 社会(87)は、系統への人気低下で2年ぶりに減少。3学科とも減少し、(社会)(84)、(コミュニティマネジメント)(84)はいずれも大幅減少。
- 国際(84)は、系統への人気低下で大幅減少し、2年連続減少。方式別では、<B日程文系型スタンダード>(103)を除きその他の方式はいずれも減少。
- 理工から改組した先端理工(100)は、前年度大幅増加した反動はなく前年度並。
- 農(109)は、2年連続増加だが、新規実施と廃止の方式を除くと(96)のやや減少。

<センター利用方式>

- 文(90)は、2年連続増加の反動で減少。
- 法(77)は、系統への人気低下で大幅減少し、3年ぶりに減少。方式別では、実施2年目の<セ・中期4科目>(146)、<セ・中期3教科>(114)は増加だが、その他の3方式はいずれも大幅減少。
- 政策(172)は、2年連続大幅増加だが、新規実施の2方式を除いた既存の方式では、(71)の大幅減少。
- 経営(73)は、系統への人気低下に加え、4年連続増加の反動で大幅減少。方式別では<セ・後期>(54)、<セ・前期3教科>(61)の大幅減少が目立った。
- 社会(84)は、系統への人気低下に加え、2年連続大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(コミュニティマネジメント)(65)、(現代社会)(80)は大幅減少。
- 国際(81)は、系統への人気低下に加え、前年度激増の反動で大幅減少し、志願者数は1,000人を下回った。
- 理工から改組した先端理工(111)は、3年連続増加。
- 農(157)は、大幅増加で2年連続増加。新規実施方式を除いても(125)の大幅増加。新規実施の<セ・前期3科目>(144)が廃止の<セ・前期4教科>と比べて大幅増加したことが影響。